

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 4 月 25 日現在

機関番号：32663

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520039

研究課題名（和文） 六朝道教における死霊観の変遷と葬墓制への影響に関する
比較宗教史的研究研究課題名（英文） Comparative Studies on the Soul Faith and Burial System
In the Six Dynasties China

研究代表者

菊地 章太（KIKUCHI NORITAKA）

東洋大学・ライフデザイン学部・教授

研究者番号：40231279

研究成果の概要（和文）：中国六朝時代の人々が死をどのように考えてきたかということが葬墓制のありように反映されている。そこでは死霊観が墓という目に見える実体の背後にあると考えられる。本研究は道教経典の文献学的検討を中心に、それが現在に続く葬墓制の変化にどのような影響を与えているのかを比較宗教史的に明らかにした。これによって現代社会における墓のありようを考えるための歴史的事例を準備することをめざした。

研究成果の概要（英文）：The Six Dynasties Chinese people's view of the death is evidently reflected in their burial system. We could recognize therefore the soul faith of that times behind the visible substance as tombs. The purpose of our comparative study on the Daoist scriptures with a reference to the Confucian and Buddhist documents is to have thrown new light upon the influence on the transition of the burial system that is continued until today.

交付決定額

（金額単位：円）

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|--------|-----------|---------|-----------|
| 2008年度 | 600,000 | 180,000 | 780,000 |
| 2009年度 | 500,000 | 150,000 | 650,000 |
| 2010年度 | 500,000 | 150,000 | 650,000 |
| 2011年度 | 600,000 | 180,000 | 780,000 |
| 年度 | | | |
| 総計 | 2,200,000 | 660,000 | 2,860,000 |

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・中国哲学

キーワード：道教、死霊観、葬墓制、敦煌写本

1. 研究開始当初の背景

(1) 思想史あるいは宗教学的に人が死というものをどのように考え、死後のありようを

どのように見つめてきたかということについて考察する方向はさまざまに想定できるが、一つには、それが葬墓制という形に反映され

ていると見なすことが可能である。すなわち死霊観が墓という目に見える実体の背後にあると考えられる。

(2) 本研究は道教経典の文献学的検討を中心に、後漢から六朝時代に大きく変遷した葬墓制の根底にある死霊観を明らかにするため、これに儒教文献や仏教文献をまじえて比較宗教史的に考察することをめざす試みである。

2. 研究の目的

(1) 本研究は六朝時代の道教経典ならびに葬送儀礼文書と出土資料（墓域から出土する文字資料）を文献学的に考察することを通じて、死霊観という現代に続く宗教的心性の形成過程を探りつつ、それが葬墓制の変化にどのような影響を与えているかを明らかにしようとするものである。

(2) 六朝道教における死霊観の変遷をたどることを目的に構築した文献的基礎をもとに、それが現在に続く葬墓制の変化にどのような影響を与えているのかを比較宗教史的に明らかにする。これによって現代社会における墓のありようを考えるための歴史的事例を準備することを最終的な目的とする。

3. 研究の方法

(1) 六朝道教における死霊観の変遷をたどるうえで根本資料となる道教経典について、敦煌写本の翻刻を行ない、これを道蔵本と対校することによって校訂本文を作成し、さらにこれにもとづいた現代語訳を試みた。対象とした経典および写本は以下のとおりである。

『道要靈祇神鬼品経』（①パリ国立図書館所蔵敦煌写本ペリオ2395番、②同ペリオ2432

番、③同ペリオ2753番、④同ペリオ3297番、⑤同ペリオ3356番、⑥大英図書館所蔵敦煌写本スタイン986番、⑦同スタイン1728番、⑧同スタイン3370番、⑨北京大学図書館所蔵敦煌写本D199番、⑩中国国家図書館所蔵敦煌遺書BD14841L番、⑪中華人民共和国政府文化部所蔵敦煌写本、⑫道蔵1201番）

『洞淵神呪経誓魔品』（①パリ国立図書館所蔵敦煌写本ペリオ2576番、②同ペリオ3233番、③大英図書館所蔵敦煌写本スタイン3786番、④サンクト・ペテルブルグ東方学研究所所蔵敦煌写本Dx10306番、⑤道蔵335番-1）

『洞淵神呪経鬼逐品』（①パリ国立図書館所蔵敦煌写本ペリオ2473番、②同ペリオ2749番、③同ペリオ2793番、④同ペリオ3309番、⑤大英図書館所蔵敦煌写本スタイン3705番、⑥道蔵335番-9）

以上の作業を踏まえ、言語および思想の各レベルにおいて異同を検討し、六朝道教における死霊観の変遷をたどるための文献的基礎の構築を行なった。

(2) 次に、道蔵所収の葬送儀礼文書（『赤松子章曆』『太上宣慈助化章』）および墓域出土の文字資料（白彬編『中国道教考古』所載）の解読を試みた。いずれも六朝道教の死霊観が同時代の葬墓制の変化に具体的にどのような影響を与えているかを明らかにするうえで、文献学的手法がかりを得るための基礎作業として行なった。

4. 研究成果

(1) 六朝道教における死霊観の変遷をたどるうえで根本資料となる道教経典の文献学的基礎を構築する作業に関しては、申請当初の予定であった『道要靈祇神鬼品経』の写本校訂に、研究期間中に新たに中華人民共和国社会

科学院の王卡氏によって存在が確認された敦煌写本を追加することができた。これに加えて、『洞淵神呪経誓魔品』および『洞淵神呪経鬼逐品』の写本校訂ならびに現代語訳をも加えることができた（その成果は「洞淵神呪経写本校異（一）（二）」と題して東洋大学東洋学研究所『東洋学研究』47号（2010年3月）と48号（2011年3月）に公表することができた）。

(2) 現在までに構築することができた上記の文献的基礎をもとに、それが現在に続く葬墓制の変化にどのような影響を与えているのかを考察した。その成果の一部として、特に位牌に焦点をあて、『葬儀と日本人一位牌の比較宗教史』と題して公表することができた（ちくま新書、筑摩書房、2011年8月）。今後も引き続き、現代社会において墓や位牌、さらに葬儀をはじめとする先祖供養ならびに死者祭祀のありようを比較宗教史の視点から考察していきたいと考えている。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文] (計10件)

①菊地章太(単著)「蓄積される罪と罰 - 古代の道教思想から現代へ」『国際哲学研究』第1号、東洋大学国際哲学研究センター、査読有、2012、pp. 34-37

②菊地章太(単著)「慈氏菩薩図像存疑」『東洋学研究』49号、東洋大学東洋学研究所、査読無、2012、pp. 79-97

③菊地章太(単著)「神との結びつきという妄想 - サルペトリエールの臨床記録から」

『イメージ心理学研究』第7巻第1号、イメージ心理学会、査読有、2011、pp. 11-17

④菊地章太(単著)「洞淵神呪経写本校異(二)」『東洋学研究』48号、東洋大学東洋学研究所、査読無、2011、pp. 368-388

⑤菊地章太(単著)「寺院なくして信仰は成り立つか - 哲学者井上円了の挑戦」『宗教研究』第84巻第4輯、日本宗教学会、査読有、2011、pp. 72-90

⑥菊地章太(単著)「洞淵神呪経写本校異(一)」『東洋学研究』47号、東洋大学東洋学研究所、査読無、2010、pp. 43-66

⑦菊地章太(単著)「宗教的恍惚に関する精神病理診断の試み」『ライフデザイン学研究』5号、東洋大学ライフデザイン学部、査読有、2010、pp. 63-73

⑧菊地章太(単著)「伯希和義和団事件始末」『白山中国学』16号、東洋大学中国学会、査読無、2010、pp. 21-34

⑨菊地章太(単著)“Les textes ecclésiastiques sur la croyance à l’Immaculée Conception de la Vierge Marie”『ライフデザイン学研究』4号、東洋大学ライフデザイン学部、査読無、2009、pp. 325-348

⑩菊地章太(単著)「敦煌写本『老子变化経』の構造と生成」『東洋学研究』46号、東洋大学東洋学研究所、査読無、2009、pp. 53-75

[学会発表] (計8件)

①菊地章太(単独)「敦煌写本『道要靈祇神

鬼品経』の効鬼法とその普及」敦煌道教文献シンポジウム、2012年3月25日、名古屋大学文学部

②菊地章太（単独）「山古志の信仰をたずねて - 十二山ノ神の祭祀と祖霊観」東洋大学福祉社会開発研究センター、2012年3月21日、東洋大学白山校舎

③菊地章太（単独）「蓄積される罪と罰 - 古代の道教思想から現代へ」東洋大学国際哲学研究センター、2011年12月10日、東洋大学白山校舎

④菊地章太（単独）「日本宗教史の教え方 - 中国宗教の論じ方と関連して」日本宗教学会第70回学術大会、日本宗教研究諸学会連合共催パネル、2011年9月4日、関西学院大学西宮上ヶ原校舎

⑤菊地章太（単独）「寺院なくして信仰は成り立つか - 哲学者井上円了の挑戦」日本宗教学会第69回学術大会、2010年9月3日、東洋大学井上円了ホール

⑥菊地章太（単独）「神との結びつきという妄想 - サルペトリエールの臨床記録から」イメージ心理学会、2009年12月5日、東洋大学川越校舎

⑦菊地章太（単独）「戦前日本における中国宗教研究」日本宗教学会第68回学術大会、日本宗教研究諸学会連合共催パネル、2009年9月12日、京都大学吉田校舎

⑧菊地章太（単独）「墓場からの叫び - 大冢訟章にみる六朝道教の死生観」東洋大学東洋学研究所、2008年11月29日、東洋大学白山校

舎

〔図書〕（計7件）

①菊地章太（単著）『道教の世界』選書メチエ520、講談社、2012、総198pp.

②菊地章太（単著）『葬儀と日本人 - 位牌の比較宗教史』ちくま新書916、筑摩書房、2011、総228pp.

③菊地章太（単著）『義和団事件風雲録 - ペリオの見た北京』あじあブックス70、大修館書店、2011、総204pp.

④菊地章太、他（共著）『知のユーラシア』明治書院、2011、pp. 8-26「ローマ教皇文書における実践神学の進展と典礼問題のゆくえ」

⑤菊地章太（単著）『妖怪学講義』講談社、2010、総202pp.

⑥菊地章太（単著）『神呪経研究 - 六朝道教における救済思想の形成』研文出版、2009、総448pp.

⑦菊地章太（単著）『儒教・仏教・道教 - 仏教東アジアの思想空間』選書メチエ428、講談社、2008、総208pp.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

菊地 章太 (KIKUCHI NORITAKA)

東洋大学・ライフデザイン学部・教授

研究者番号：40231279

(2) 研究分担者 (0)

(3) 連携研究者 (0)